

南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

今後の予定

十一月一日

・ BNE 文集用クラス集合写真撮影

十一月八日

・ 文集原稿締切

・ GC 文集用クラス集合写真撮影

十一月十五日

・ BNE 校 G20 のため休校 (補講日調整中)

・ GC 入学説明会・出願受付開始

・ GC 授業参観日 & 学校評価の日

十一月二十二日

・ BNE 入学説明会・出願受付開始

・ BNE 授業参観日 & 学校評価の日

十一月二十九日

・ GC 補習校祭り

十二月六日

・ 両校新入生願書締切

十二月十三日

・ 第三学期終業式

ブリスベン校補習校祭り

十月二十五日、ブリスベン校の補習校祭りが体育館で行われました。今年度は、「平素の学習活動の成果を発表し、

その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行う」という学習指導要領の目標に基づいて、日本の学園祭に近いものを演出することに努めました。多くの方々が実に熱心に取り組んで下さったおかげで、素晴らしい文化祭になりました。準備段階から当日、そして片付けまで大忙しだった保護者会の皆様、疲労を乗り越えて精を出して下さった「おやじの会」の皆様、児童生徒の指導に加えて自分の担当の仕事に活発に取り組んでくれた各先生方、食べ物や芸能で盛り上げてくれた外部の方々、そして何よりもこの日の主役の児童生徒が積極的に参加してくれ、楽しんでくれました。運動会と同様に皆でひとつのものを作り上げた素晴らしい学校行事になったと思います。すべての皆様に感謝申し上げます。片付けの最中に小三の女児が近づいてきて、「校長先生、楽しい補習校祭りをしてくれて、ありがとうございます」と言ってくれました。私と他のひとりの先生しか聞きませんでした。私と他のひとりの先生しか聞きませんでした。

疲れた表情で片付けをしていたすべての皆様がその場でこれを聞いていたらどんなにか疲れが吹き飛んだことだろうと思えました。

今後のための資料になるよう、写真を添えて内容を記しておきます。

一・ 展示・学習発表

(一) 幼稚部絵画、工作

(二) 小一、小二「グラジオラス栽培記録」および鉢植えグラジオラス



(三) 小四壁新聞
(四) 書道教室



(五) 理科教材工作教室
①室内機ウインデー (飛行の原理)
②エコライト (発電と蓄電)



二・ゲーム

①お化け屋敷

保護者の協力を得て、中二、中三の生徒、担任の先生が朝九時から一生懸命に会場作りをしてくださいました。怖くて泣いてしまう子もいました。スタッフの中学生、素晴らしかったです。



- ② 輪投げ ③ ヨーヨー釣り ④ スーパーボールすくい

三・芸能

「とことん太鼓」のお二人の演奏と飛び入り児童の太鼓教室



- 四・バザー
- ① マンガ ② 衣類 ③ おもちや ④ だら焼き ⑤ クッキー ⑥ チョコレートケーキ

五・飲食ブース

- 〈業者ブース〉① やきとり二・五ドル完売 ② 原宿餃子八ドル ③ コーヒー四ドル ④ 寿司ゴーラウンド(買取品)五ドル完売 ⑤ 唐揚げ四ドル完売
- 〈おやじの会〉
- ① 焼肉バーガー五ドル完売 ② ホットドッグ三ドル ③ たい焼き二ドル

〈保護者会〉

- ① 炊き込みご飯二・五〇ドル ② いなり一・五〇ドル ③ おにぎり ④ かき氷 ⑤ 枝豆 ⑥ たこ焼き



全校朝会スピーチ

九月二十日

GC中3 吉田沙羅

皆さんにとって幸せとはどういう

ことですか。例えば、お母さんのおいしいご飯が毎日食べられることだったり、好きなスポーツを続けることができることだったり、それぞれ、一人一人、幸せの感じ方や思い方が違うと思います。私にとって幸せは、毎日三食を食べることができて、毎日帰る家があるだけで、恵まれていると思っています。こういう当たり前のできごとで感謝し、ありがたく思うことが大事です。

皆さんは、自分たちの親に、本当にありがたい、といつ最後に思ったか覚えていませんか。親は、きつと、毎日ご飯を作っているときには、おいしく食べてもらいたいと思いつながら作っていると思います。おいしい、という言葉で親たちの顔の表情が変わることに気づくと思います。どんな小さな出来事でも、ひとつひとつに感謝することが大事です。毎日たった一言を言うだけで、人々の笑顔を見ることが出来ます。笑顔は幸せの始まりと言えます。

GC小三・幼稚部交流会

三年生の国語の単元に「わたしたちの学校行事」があります。補習校の学校行事にはいろいろありますが、その中で毎年一月に行われるカルタ取り

の行事について説明するため、三年一組の児童が二学期最終日に幼稚部の教室を訪れました。児童はそれぞれが役割分担をして、いつから始まったのか、いつ、どのようにカルタ取りをするのかなどを説明しました。説明の後、幼稚部の子どもたちが習ったひらがな二十二を使って、三年生によるカルタ取りの実演をしました。そして、幼稚部の子どもたちもカルタ取りを楽しみました。普段は他の学年との交流がありませんでしたが、この日は、三年生と幼稚部の子どもたちとつちよつとした交流会になりました。

